

様式第3号（第9条関係）

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

| | | | |
|----------------|--|--------|--|
| 附属機関等の名称 | 令和3年度 第1回みよし市みどりと景観審議会 | | |
| 開催日時 | 令和4年3月8日（火） ※書面開催 | | |
| 開催場所 | — | | |
| 出席者 （書面参加者） | 【委員】 芹澤 俊介、宇野 勇治、岡村 穰、加藤 憲、森井 恵治 | | |
| 次回開催予定日 | 令和4年度（時期未定） | | |
| 問合せ先 | 都市建設部都市計画課 担当者名 本田 電話 0561-32-8021 ファクシミリ 0561-34-4429 メール toshi_k@city.aichi-miyoshi.lg.jp | | |
| 下欄に掲載するもの | <ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 ・書面開催結果 | 要約した理由 | |
| 審議経過 | <p>報告事項</p> <p>（1）令和3年度 景観届出件数について（資料1）</p> <p>（2）みどりと景観計画アクションプランの進捗状況について（資料2）</p> <p>（3）「みよし市景観百選」の選定について（資料3）</p> <p>上記につき意見書の提出を求め、意見の集約を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の集約 別紙のとおり | | |

令和3年度 第1回みどりと景観審議会（書面開催）の意見集約

(1) みどりと景観計画アクションプランの進捗状況について

| No. | 意見の内容 | 対応 |
|-----|--|--|
| 1 | 「37遊休農地のふれあい農園化」春と夏は土木業者が比較的業務量が少ないと聞いており、茶樹や果樹の栽培に関与して業務として成り立つ工夫があっても良い。土木工事用重機の取り扱い方法を市民に資格取得などの講習ができれば、作業員不足の災害時の重機操作を資格取得した市民に委ねることができ、平常時も農地や緑地の造成の手助けになる。「48緑の出前講座」にも、重機の操作資格の取得講習があっても良いのでは？ | 現状、緑と花のセンター（さんさんの郷）において、「小型トラクター」や「管理機」などの操作研修は実施していますが、「土木工事用重機」においては、市で操作研修を実施できておりません。今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 2 | 「59住民参加による街路樹の維持管理」主な作業は退屈な落葉掃きと脇芽摘みで、70歳定年時代を迎えて、体力的にボランティア活動に参加できる人数が激減している。外国人労働者に頼らないのであれば、落葉掃きと回収は小型機械化が必要な分野である。 | 現状、「街路樹の維持管理」は市で実施していますが、民間との協同事業としては実施できておりません。今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 3 | 「景観まちづくり」について、企画段階からの住民参加に加えて、春と夏に比較的業務量が少ない土木業者も加えたまちづくり活動を展開し、みよし市の公共工事に参画できるCPD等の単位取得に通じる活動にするべきであると思う。 | 現状、市では「CPD単位」の取得に通ずる活動や、取得の有無を考慮に入れた工事入札方法は取れていません。今後の取組の参考とさせていただきます。 |

(2) 「みよし市景観百選」の選定について

| No. | 意見の内容 | 対応 |
|-----|--|--|
| 4 | 選考シート78「シラタマホシクサ」の選考の視点は、視点3（日頃から大切に感じている）よりも視点1（次世代に守り伝えたい）の方がふさわしいような気がしました。 | 視点3（日頃から大切に感じている）に、視点1（次世代に守り伝えたい）を加え、整理させていただきます。 |

(3) その他

| No. | 意見の内容 | 対応 |
|-----|---|--------------------------------------|
| 5 | 「みどりと景観計画」の改定に際しては、建物や看板などの景観がより良くなるような工夫、ガイドラインなどが示されると、より良いと思います。 | いただいたご意見を参考に、「みどりと景観計画」の改定の検討をまいります。 |